

平成30年度 第1回玉城町総合教育会議

■日時：平成30年5月14日（月）午前11時00分～12時00分

■場所：役場3階 第2委員会室

■出席者

教育委員：水谷委員、小林委員、前川委員、奥藤委員

辻村町長、田間教育長、中西教育委員会事務局長

事務局：小林副町長兼総合戦略課長、中川主幹、永井主事

■配布資料

資料1：玉城町総合教育会議設置要綱

資料2：平成30年度玉城町総合教育会議委員名簿

資料3：平成30年度玉城町教育方針

別冊：玉城町まち・ひと・しごと総合戦略 概要版

別冊：第5次玉城町総合計画後期基本計画 概要版

■次第

1 町長あいさつ

2 議題

3 その他

■議事録

【この会議録は要点記であり、すべて発言が掲載されているものではありません】

1 町長あいさつ

町政の状況を含む

2 議題

(1) 町政の状況について

- ・ 昨年の台風21号被害の復旧・復興と今後の防災・減災力の強化に尽力する。実感として玉城の場合は学校区（旧村単位）が最も取組みやすい形。これから防災・減災をテーマに学校区別の地区懇談会を開催したいと考えている。
- ・ 最近、全国で子供が被害に遭ういたたまれない事件が発生している。当町は子ども安全パトロール員さんや青色回転等パトロール員のみなさんの活躍もあり、大きな事件もなく日々を安全に過ごさせていただいている。改めて感謝したい。今後も教育委員会をはじめ学校や地域と連携し、更なる防犯体制の強化を徹底していきたい。
- ・ 今年は記念年目白押しである。村山龍平記念館35周年、城山寄贈90周年、夏の高校野球第100回大会、大学駅伝第50回大会、田丸駅125周年など。積み重ねて

いただいた歴史に感謝しながら、これらを契機にまちを盛り上げていきたい。

- ・「教育」はまちの将来にとって最も大きなテーマ。今日は教育行政を中心とするものの、特にこだわりはない。忌憚ない意見交流の場としたい。

(2) 平成30年度玉城町教育方針について

4月の定例教育委員会の教育会議において承認得ているため、簡潔に説明
意見なし

(3) 情報交換について

委員	近隣でも子供の数が少なくなっている。外城田小学校も1クラスが出てきた。他地域の方に玉城町の良さを理解してもらうことで、人口の増加することが、経済の底上げにつながる。 教職員の時間外労働の解決については、難しい問題であるが、先生の応援の気持ちが強く、結果時間外労働に繋がっている。学校としての責任も果たしつつ、子どもたちの成長につなげていかなければならない。
町長	県もスポーツには力を入れている。
委員	全国的な問題なので、良い手法があれば参考にすると良い。
町長	成長期の子供たちなので、負荷を与えすぎないようにしなければならない。先生にとって生徒は自分の子供のようなものだから、力が入る。
教育長	部活動の成績も良い結果が上がってきている。時間外労働とのバランスは大切である。
町長	ワークライフバランスを大切にしていかなければならない。
委員	管理者として、慎重に考えていかなければならない。
委員	玄甲舎について、100人委員会にも参加したが、どのように活用していくのか、大変貴重な資源であるので、活用をして欲しい。
町長	教育委員会と総合戦略課で活用方法について引き続き進めていく。これからどんどんいい方向へと向かって行かなければならないと考えている。
委員	子どもたちにも活用できる機会があればいい。地域の協力も含めて。
委員	学校教育に対してはとても手厚いと感じている。家庭の問題については何か支援ができないかと考えている。卒業式での欠席生徒がいるのは様々な事情があるだろうが、無くしていけたら良い。 子供が出入りしやすい、利用しやすい図書館が出来ればうれしい。
町長	入学式・卒業式に両親での参加が増えてきている。非常に良い傾向であるが、不登校生徒がいる現実もあるのでサポートをはじめ対策を講じていかなければならない。 図書館についても体育館をはじめ全体計画を具体的に立てていく時期にきている。
委員	下外城田小学校でのキャンプが今年から校内キャンプのみとなり、校外キャンプが無くなって子どもたちが残念がっている。学校のリスク管理もあ

	るので仕方ないことだが、少し寂しい。
町長	最近の子供たちは外で遊ぶことが少なくなっている。
委員	家の中で遊ぶことが多い。
町長	子どもたちには自分たちの校区を知って、大切にしていって欲しい。 校区の中での楽しみを作っていければいい。
委員	思考を変えるのは良いことだと思う。
町長	地域の方々と子供たちが接する機会が大切である。

3 その他

特になし

以上